

弱溶剤型ポリウレタン樹脂塗料

F☆☆☆☆
ホルムアルデヒド登録認定商品

ウレオール 100マイルDS



■ 系統

弱溶剤NAD系ポリウレタン樹脂塗料

■ 特長

- ①耐候性・光沢保持性にすぐれている
- ②耐汚染性にすぐれ、微弾性を有している
- ③防カビ・防藻性を強化している
- ④旧塗膜を侵さないで塗り替えに最適

■ 用途

各種建設資材・建築内外装・機械・金属製品
プラスチック製品など

■ 容量

15kgセット(主剤 13.5kg S-100 硬化剤 1.5kg)
4kgセット(主剤 3.6kg S-100 硬化剤 0.4kg)

■ 標準塗付量

エアスプレー 0.13~0.15kg/m²
はけ塗り 0.11~0.13kg/m²

■ ポットライフ

8時間以内(20℃)

■ 塗料性状(白)

密度 (g/cm ³ /23℃)	混合物 1.17 (主剤 1.18 硬化剤 1.10)
加熱残分(%)	混合物 60.6 (主剤 59.0 硬化剤 75.0)
引火点(℃)	主剤 46 硬化剤 40
発火点(℃)	主剤 288 硬化剤 288
危険物区分	主剤 第四類第二石油類 硬化剤 第四類第二石油類
有機溶剤区分	主剤 第三種有機溶剤等 硬化剤 第三種有機溶剤等
有害物表示	S D S 参照ください

■ 適応シンナー

塗料用シンナー

■ 適応下塗り塗料

ネオプライマーCF・UPプライマー・スィヨウソフトフィラー

■ 塗装可能な各種素材

軟鋼板・鋳鉄・りん酸亜鉛処理板・ステンレス 304・シルバー
アロイ板・ボンデ鋼板・スレート板・PCコンクリート板
ABS板・硬質塩ビ板・ベークライト板・FRP板・
ポリカーボネート板

■ 塗装可能な旧塗膜

合成樹脂塗料・アルキド樹脂塗料・アクリル樹脂塗料・
塩化ゴム系塗料・エポキシ樹脂塗料・ポリウレタン樹脂
塗料・アクリルエマルション塗料・メラミン樹脂焼付塗料・
熱硬化アクリル樹脂塗料・粉体塗料
(ふっ素樹脂系塗料は不可)

■ 乾燥時間

	5℃	20℃	30℃
指触乾燥(分)	60	40	30
半硬化乾燥(時間)	7	3	1.5
塗装間隔(時間)	24	3	3

■ 試験成績表(白)

項目	試験条件	結果
鏡面光沢度(60度)	80以上	90
耐衝撃性(落球式)	500mmの高さから300gのおもりを落とした時、おもりの衝撃で塗膜に割れ、はがれが出来ないこと	合格
付着性(基盤目テープ法)	評価点数が10点であること	10点
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウム水溶液に7日間浸したとき、異常がない	合格
耐酸性	5%硫酸溶液に7日間浸したとき、異常がない	合格
促進耐候性	サンシャインウエザオメーターにて照射時間500時間で、塗膜に膨れ・はがれ・割れがなく、光沢保持率は70%以上で、色の変化の程度の差異が見本品に比べて大きくなく、白亜化の程度が8点以上である	合格
耐候性	試験の期間24ヶ月で、塗膜に膨れ・はがれ・割れがなく、色の変化の程度の差異が見本品に比べて大きくなく、白亜化の程度が4点以上である	合格

■ 塗装仕様書 無機質系素地(コンクリート・モルタル・PCパネル)に新設塗装する場合

工程	塗料名	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗付量 (kg/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)
1	素地調整	被塗面素地は含水 10%以下、PH10 以下に乾燥させる。素地面のレイタンス・エフロエッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違い等は補修しておく。				
2 3	上塗り (2 回塗り)	ウレオール 100 マイルドS 主剤 9:硬化剤 1	はけ・ローラー エアレススプレー ポットライフ 8 時間 (塗料用シンナー)	5~15 10~20 (塗料用シンナー)	0.11~0.13 0.13~0.15 25~30	3 (15 日以内)

■ 塗装仕様書 一般鉄部塗り替え塗装の場合

工程	塗料名	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗付量 (kg/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)
1	素地調整	錆・ほこり等の異物及び劣化塗膜を除去し、清浄な面にする。(3 種ケレン) 油類は溶剤拭きで除去する。鉄部の露出面は、錆止め塗料でタッチアップし 3 時間以上乾燥させる。				
2	下塗り	ネオプライマーCF	はけ・ローラー エアレススプレー (塗料用シンナー)	5~10 10~20 (塗料用シンナー)	0.15 0.17 25~30	5
3 4	上塗り (2 回塗り)	ウレオール 100 マイルドS 主剤 9:硬化剤 1	はけ・ローラー エアレススプレー ポットライフ 8 時間 (塗料用シンナー)	5~15 10~20 (塗料用シンナー)	0.11~0.13 0.13~0.15 25~30	3 (15 日以内)

■ 塗装仕様書 無機質系素地(コンクリート・モルタル・PCパネル)に塗り替え塗装の場合

工程	塗料名	塗装方法	希釈率 (質量%)	塗付量 (kg/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔 (時間以上)
1	素地調整	旧塗膜のチョーキング・汚れ・ほこり・劣化塗膜は、高圧水洗で取り除き、充分乾燥させる。				
2 3	上塗り (2 回塗り)	ウレオール 100 マイルドS 主剤 9:硬化剤 1	はけ・ローラー エアレススプレー ポットライフ 8 時間 (塗料用シンナー)	5~15 10~20 (塗料用シンナー)	0.11~0.13 0.13~0.15 25~30	3 (15 日以内)

取扱い及び保管上の注意

- 密閉された場所での作業は、十分な局所排気装置をつけ適切な保護具を着用して行ってください。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスクをつけ、更に頭巾・保護メガネ・襟巻きタオルをしてください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- よくフタをし、40℃以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 缶の持ち運びの際には、手環はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げる様に取り扱ってください。容器を切って使用する場合は、手を切る恐れがありますので保護手袋等を使用してください。
- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 塗装缶はよく振った後開缶し、所定の混合比率で調合したのち充分に攪拌してご使用ください。硬化剤を混入したものは、ポットライフ内に使い切ってください。硬化剤は水分と反応しますので、使用時以外は密封して冷暗所に保存にし、水分の混入は絶対に避けてください。特に、梅雨時など多湿の場合は注意してください。

緊急時及び応急処置

- 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後に処理してください。また、容器等に付着した塗料はウエス等で拭き取り、廃棄してください。
- 皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空气の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 火災時には、炭酸ガス・泡・粉末消火器を用いてください。

廃棄上の注意

廃塗料・塗料カス・廃溶剤・容器などの廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の定めに基づいた処理業者に委託してください。

詳細な内容が必要なときは、安全データシート(SDS)をご覧ください。

川上塗料株式会社

特約店



本社	〒661-0001	尼崎市塚口本町二丁目41番1号	06-6421-6325(代)
営業所	仙台	024-959-4777	北日本 024-959-4777(代)
	東京	03-5661-1501(代)	金沢 076-231-1907
	浜松	052-501-8211	大阪 06-6421-6363(代)
	名古屋	052-501-8211(代)	広島 082-293-6868(代)
	九州	092-541-3461(代)	
ホームページアドレス	https://www.kawakami-paint.co.jp/		